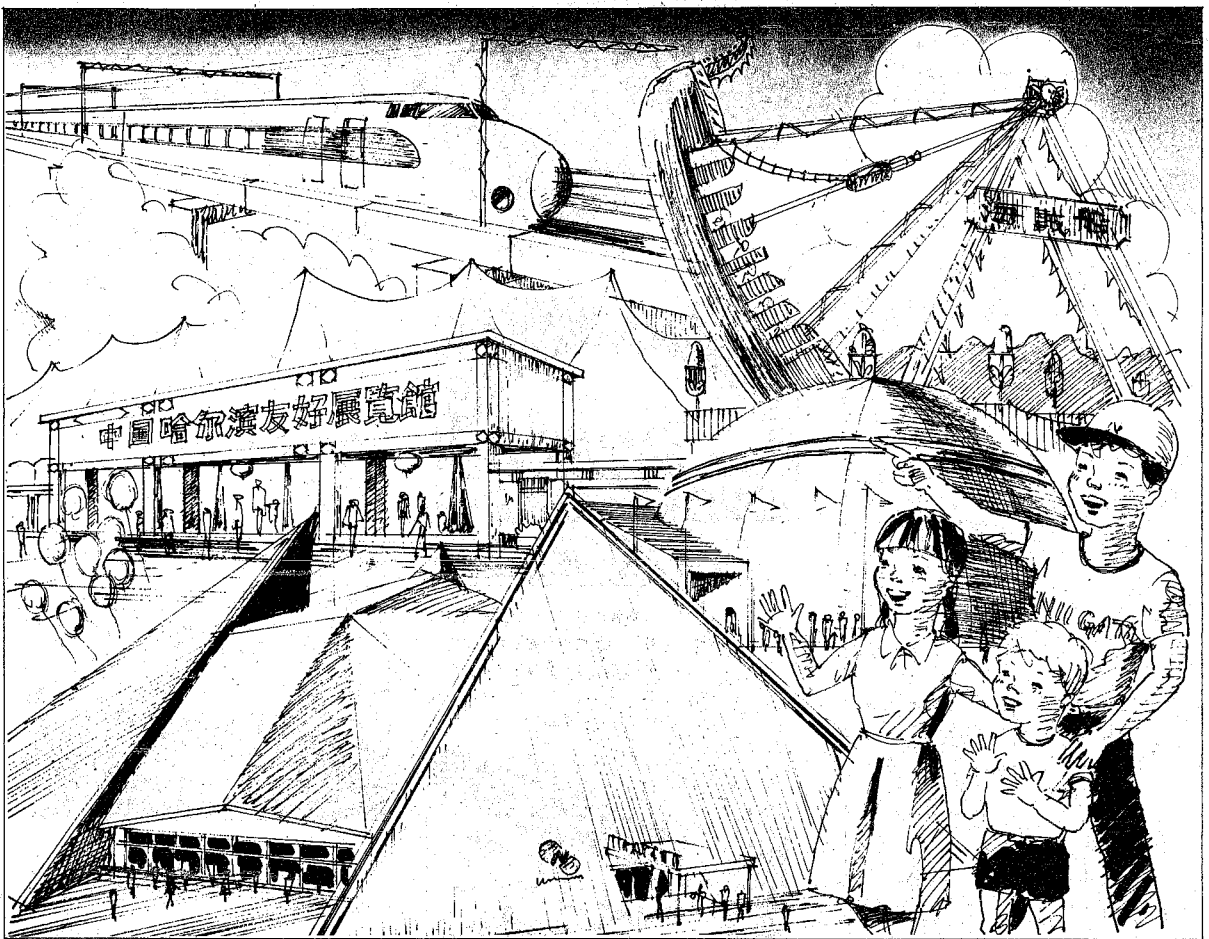


にいがた

市の人口

人口	459,868(+667)
男	225,341(+333)
女	234,527(+334)
世帯数	148,660(+476)
58年5月末現在	

発行日	毎週日曜日
発行所	新潟市役所 新潟市西堀通6番町 8 6 6
電話	代表(28)1000
編集人	二宮 倉三 (担当企画部広報課)
印刷所	朝日第一印刷所



未来との出会い

新幹線の駆け抜ける越後路に、今、'83新潟博。新潟県の将来、最新のエレクトロニクス、そして、未来のくらし、興味尽きない夢や話題をぎっしり詰め込んだパビリオンがいっぱい。新潟博は何を明示し、私たちはどんな未来を見つけることができるだろうか。未来との出会い、それは'83新潟博で始まる。

ふれよう、未来の新潟に

「上越新幹線開通記念」

'83新潟博'あす開幕

新潟に新しい風が吹き始めている。日本列島を横切って突走る夢の超特急は、雪国新潟のイメージを一変した。

裏日本、鉛色の空、雪国……。どこか暗いイメージを思い浮かべさせる新潟を表す枕詞(まくらことば)は、もはやこの街には似合わない。

新幹線の開通、関越・北陸両自動車道の延長と、高速交通時代が現実のものとなり、私たちの生活をジワジワと変えつつある。

新潟空港からは、ソウル、ハバロフスクヘジェット旅客機が飛び、新潟港では、定期化した新潟ーナホトカ間のコンテナ船の荷上げ作業が忙しい。海外との人的、経済的、文化的交流の活性化は、新潟の国際都市としての性格をますます高め、街に活気を与えてくれるだろう。

新潟発展の環境と条件は出そろった。日本海新時代の担い手として新潟は飛び立とうとしている。

そして、今、「'83新潟博」。

「飛躍と可能性を求めて」をメインテーマに開かれる「'83新潟博」は、私たちに何を問いかけ、何を明らかにしてくれるのか。私たちは、どんな新潟を見つけたせるだろうか。

「緑の風、今はばたきの時新潟」、新潟の未来をあますところなく描き出す「'83新潟博」は、明日開幕する。

'83新潟博に

おいで下さい



新潟市長 若杉 元喜

'83新潟博は、見て参加して楽しめる、おまつり広場やブレイランドをはじめ、飛び出す映画や最新技術、コンピューター、未来の交通やくらし等のほか、ハルビン館や国際友好館も加わり、パラエティに富んだ企画がいっぱいです。

どうぞ、市民の皆さん、この夢と楽しさあふれる新潟博に、家族そろっておいで下さい。